

40. 女子学生の体格及健康状態と食生活

日本女子大

武藤 静子

加藤 翠

高神 弘子

1. 出生後から青年期にいたるまでの成長期の食生活

が、青年期における体格及健康状態に大きな影響を及ぼすものであることは、想像にかたくないが、これを日本女子大学生の記録にもとずいて検討することを目的とした。

2. 対象 日本女子大学々生

調査方法 調査用紙により、本人の過去現在の発育・健康・食生活の記録及び家族の食生活ならびに体格健康状態の記録等について、主として本人が自分自身の記録を記入した結果について、前記の目的の関係項目を集計検討を試みたものである。

3. (イ)青年期の体格は、出生時、小学校、中学校、高等学校と、発育と共にその体格との相関が高くなっていく傾向がみられた。

(ロ)乳児時代の栄養方法も、ある程度青年期の体格と関係がみられる。

(ハ)現在の食物のとり方と現在の体格及健康状態との間にも、ある程度の関係が存在することが観察された。

(ニ)現在の食習慣の或物は、現在の健康状態に及ぼすことが観察された。